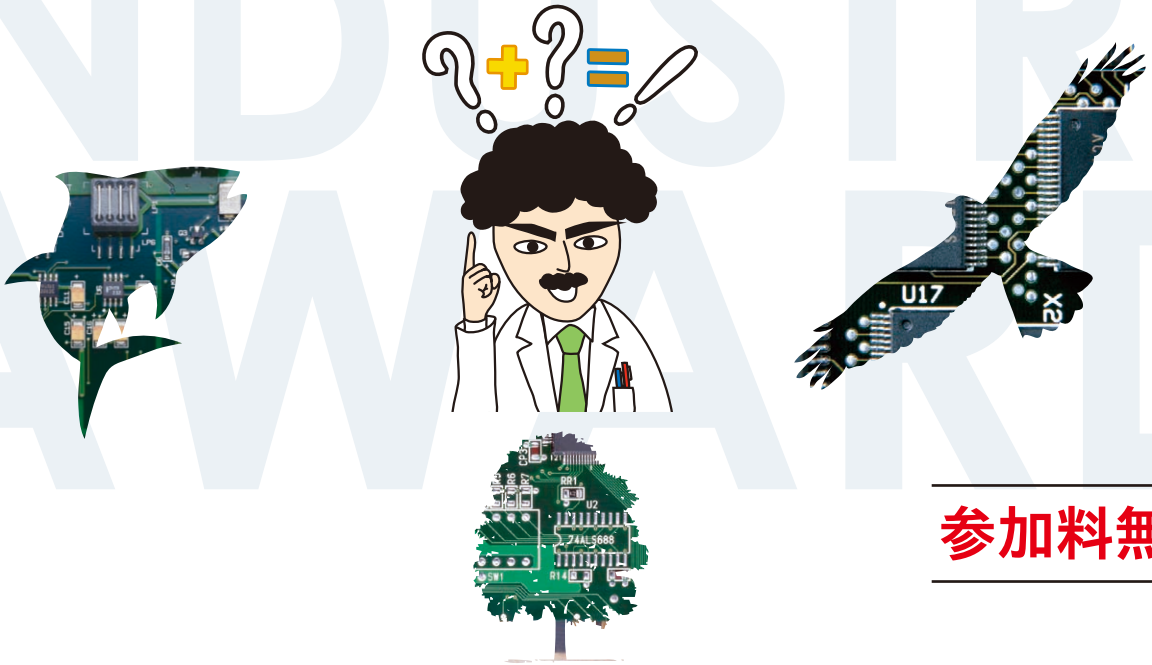
ネイチャー・インダストリー・アワード

～若手研究者からの発信～



参加料無料

■趣旨

自然界の構造や機能など“自然の叡智”を産業技術へ応用することが、新しいモノづくりへの取組みとして、近年、各方面から注目されております。

一方、関西を元気づけ、盛り上げていくためには、若い研究者や技術者の研究を奨励し、バックアップしていくことが必要です。

このため、今般、当財団では日刊工業新聞社と共催で、自然の叡智に関する研究を行っている若手研究者を奨励する「ネイチャー・インダストリー・アワード～若手研究者からの発信～」を開催することになりました。

本事業では、(1) 若手研究者のポスター発表を通じて、研究内容を産業界へ発信し、産業界とのマッチングを図るとともに、(2) 優れた研究を表彰することにより、若手研究者の研究を奨励します。

特にポスター会場では、直接、発表者と参加者とで質疑応答や懇談をして頂くことにより、産業界の方にとりましては、新しい技術や製品開発のヒントが得られる機会となりますので、是非とも多数ご参加くださいますよう案内申し上げます。

日時 平成24年 **11月20日［火］** 10：00～18：00

場所 **大阪科学技術センター 8階 大ホール、中ホール**
〒550-0004　大阪市西区靭本町1-8-4

主催　（一財）大阪科学技術センター　　共催　日刊工業新聞社（モノづくり日本会議）

後援（予定）　近畿経済産業局、(独)科学技術振興機構、大阪府、大阪市、京都府、京都市、兵庫県、神戸市、奈良県、滋賀県、和歌山県、福井県、大阪大学産学連携本部、京都大学産官学連携本部、神戸大学連携創造本部、京都工芸繊維大学創造連携センター、大阪府立大学地域連携研究機構、大阪市立大学産学連携推進本部、兵庫県立大学産学連携機構、関西大学社会連携部産学官連携センター、立命館大学産学官連携戦略本部、龍谷エクステンションセンター(REC)、近畿大学リエゾンセンター、大阪工業大学研究支援推進センター、摂南大学研究支援センター

ポスター発表 〈 10:00〜18:00 ／ 8F・中ホール 〉

下記の大学等にて、“自然の叡智に関する研究 注)” を行っている若手研究者（原則45歳以下）のポスター発表を行います。

注）**“自然の叡智に関する研究”とは**
動植物が有する構造をはじめ自然界の機構や機能など“自然の叡智”を産業技術へ応用することを目指した研究と定義しています。単なる自然現象の解明だけで終わらず、そこからエンジニアリングや産業に応用したいという考えで研究しているシーズを対象としています。

発表機関
（順不同）

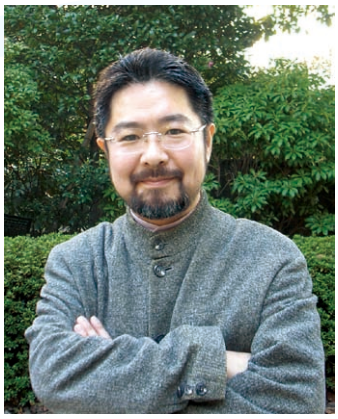
大阪大学	大阪市立大学	近畿大学
京都大学	兵庫県立大学	大阪工業大学
神戸大学	関西大学	摂南大学
京都工芸繊維大学	立命館大学	明石工業高等専門学校
大阪府立大学	龍谷大学	

（平成24年9月末現在）

発表シーズの分野
《発表件数》
全体で30〜35件

☆発表テーマと発表者の詳細については、10月19日以降に下記の当財団ホームページに掲載致しますのでご覧ください。
http://www.ostec.or.jp/data/news_ostec/12072001/

基調講演 〈 13:30〜14:30 ／ 8F・大ホール 〉



ユニバーサルデザイン総合研究所　所長　**赤池　学**

“自然に学ぶものづくり”

1958年東京都生まれ。1981年筑波大学生物学類卒業。
社会システムデザインを行うシンクタンクを経営し、ソーシャルイノベーションを促す、環境・福祉対応の商品・施設・地域開発を手がける。「生命地域主義」「千年持続学」「自然に学ぶものづくり」を提唱し、地域の資源、技術、人材を活用した数多くのものづくりプロジェクトにも参画。科学技術ジャーナリストとして、製造業技術、科学哲学分野を中心とした執筆、評論、講演活動にも取り組み、2011年より（一社）環境共創イニシアチブの代表理事も務める。